

報道関係各位

2014年 12月 3日

**802.11acに対応したネットワークシミュレータの最新バージョン「QualNet 7.3」をリリース
～ 無線LAN規格 IEEE802.11ac、LTEモデル H-ARQ機能を正式サポート ～**

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：服部正太）は米国 SCALABLE Network Technologies 社の通信ネットワークシミュレータ（製品名称：QualNet）について、2014年12月初旬より最新バージョン「QualNet 7.3」の提供を開始します。

日本国内で250サイトを越える企業・研究機関・大学研究室に利用され、無線通信の研究開発においてスタンダードなツールとして広く普及しているネットワークシミュレータ「QualNet」に、新たな機能を追加しました。

2014年1月にIEEEにて正式に規格化された次世代の無線LAN規格IEEE 802.11acのプロトコルモデルを標準機能として搭載しました。QualNetは既にIEEE802.11nにも対応しており、同種の商用通信ネットワークシミュレータと比較して、IEEE802.11シリーズに追従している唯一のネットワークシミュレータと言えます。

また、機能拡充を継続しているLTEモデルにおいては、H-ARQ (Hybrid-Automatic Repeat reQuest) 機能を追加しました。加えてお客様のモデリング作業をより円滑にするためのインターフェースの改良、分析作業をサポートする統計機能も強化しました。

これらの機能追加によって、お客様がより現実的な条件下でネットワーク性能を評価できるようサポートいたします。

■ 展示会への出展情報

QualNet および関連製品は、以下の展示会でご覧いただけます。

【マイクロウェーブ展2014】

日 時：2014年12月10日（水）～12月12日（金） 10:00～17:30（※最終日のみ 17:00 終了）

場 所：パシフィコ横浜（ブース番号 B62）

詳 細：マイクロウェーブ展2014公式サイト <http://apmc-mwe.org/mwe2014/kigyo/data/A03900.html>

■ QualNet について

QualNet は、ネットワークデバイスや通信アプリケーションの開発初期段階において、仮想ネットワーク空間を用いたシミュレーションをリアルタイムもしくはそれ以上のスピードで実行できる唯一のモデリング&シミュレーションツールです。評価対象のネットワークは数千～数万ノード規模に対応可能です。シミュレーション対象となる通信システムモデルには、WiFi (IEEE 802.11) やセンサーネットワーク (IEEE 802.15.4) などの中短距離通信システム、UMTS、LTE や WiMAX (IEEE 802.16) などの長距離通信システム、さらに衛星通信システムなど 175 種類におよぶ通信方式やプロトコルモデルが C++ のソースコードの形で提供されています。このため、オリジナルなモデルを構築したり、既存モデルをカスタマイズしシミュレーションに反映したりと、研究開発をさらに前進させることが可能になります。

QualNet 日本語公式サイト：<http://www.kke.co.jp/qualnet>

■ 会社情報：株式会社構造計画研究所（<http://www.kke.co.jp>）

構造計画研究所は1956年に建物の構造設計業務からスタートし、それら人工構築物を取り巻く自然環境（地震、津波、風など）、そして社会・企業・コミュニティへと解析の対象範囲を広げてきました。「大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業」として、知の循環から生まれる工学知を基に社会の問題を解決し、「次世代の社会構築・制度設計」の促進に貢献します。

■ 本件に関するお問い合わせ先

・製品、技術内容窓口

株式会社構造計画研究所 ネットワーク技術部 QualNet担当

TEL: 03-5342-1129 FAX: 03-5342-1229 e-mail: qualnet@kke.co.jp

・報道メディア関係窓口

株式会社構造計画研究所 広報・IR室 竹田／守武

TEL:03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。